

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保小学校	校長氏名	関藤 一智	生徒指導主事氏名	永井 利明
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『リーダーの育成』

取組のねらい『キーワード リーダー性の育成』

みんながよりよい学校生活を送るために、協力して諸問題を解決しようとする自主的実践的態度を育てるとともに高学年児童にリーダーとしての役割を自覚させる。

取組の具体的内容『キーワード 主体性』

◎あいさつの取組



◎あいさつ運動

- ・「いつでも どこでも だれにでも あいさつをしよう」をスローガンに掲げ、児童会と職員で挨拶運動をする。

◎あいさつ貯金魚

- ・児童会役員が、あいさつをしている児童を肯定的に評価し、あいさつを主体的に行えるようにする。

◎学級委員会

① 12月の目標ができました。 児童会だより トイレをきれいに使おう。			
② 11月の各学年の反省 4年生の反省 5年生の反省 6年生の反省			
③ 久保小広場 児童会からのお知らせ			

児童会だより 児童会ひろば	
児童会からのお知らせ 児童会だより	

- 児童の主体性、自主性を高めることを目指し、児童会の自治活動や各学年のクラスの話合い活動の充実及び活性化を図るために学級委員会を開く。

○各学年で話し合ってくる内容

- ・ 毎月の生活目標を守れたかの反省と次月の生活目標
- ・ 学校生活の中でよかったと思うことや困っていること
- ・ 児童会や他の学年にお願いしたいこと（緊急の場合は随時児童会に連絡する）



○事後の取組

- ・児童会だよりを全教職員と各クラスに配布する。
- ・よかったことについては給食時間の放送で紹介する。
- ・気になっていることや困っていることは、児童会から各クラスに連絡し、解決をしていく。

◎縦割り班活動



○無言清掃

- ・全学年の縦割り班で、5つの約束（バンダナを付ける。無言で掃除をする。時間いっぱいまでする。自分の役割を果たす。片付けをする。）について、やり切ることを目標に掃除をする。
- ・6年生のリーダーを中心に毎日振り返り、そうじ点検表に記録し、次の日につなげる。

○リーダーによる絵本の読み聞かせ。（毎週水曜日）

取組の課題・創意工夫『キーワード 徹底』

- ・生活目標を考えることはできたが、日々の生活の中で、全ての児童が、意識して行動できていない。
- ・縦割り班清掃で、肯定的評価は高かったが、リーダーが真面目に取り組まなかったり、リーダー以外の高学年が遊んだりしているグループがある。
- ・中学校とあいさつ運動の交流をすることにより、「先輩たちのあいさつは声が大きくてすごかった。」「礼がそろっていてよかった。」「先輩たちのまねをしたい。」という感想を持っていた。

取組の成果（効果）『キーワード 自覚と習慣化』

- ・毎月、学級委員会を開くことによって、学級会活動で話し合いを持ち、自分たちの生活を考えるようになってきた。
- ・縦割り班そうじで5つの約束を守れた児童の割合は、平均すると85%であった。児童の反省では肯定的評価をしている児童が85%いた。また、リーダーの自覚を持って行動する児童が増えてきた。

今 後 の 展 開『キーワード 継続と発展』

- ・学級会活動で自分たちの生活を見直すことができたり、縦割り班活動を取り入れることによってリーダーが育ってきたりしている。この取組を継続し、さらに学級会活動を活発にし、学校生活をより良くしたり、リーダーが主体的に活動したりするような取組をしていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 主体性の育成』

- ・リーダーや児童会役員などと、どのような活動にしていくなか話し合い、考えさせることによって主体性が育成される。